診療局：泌尿器科

＜スタッフ紹介＞

役　職	スタッフ名
部　長	射場　昭典
副医長	樋口　雅俊
副医長	松浦　昌三
医　員	芝野　秀哉
非常勤医員	上村　啓文（10月入職）

＜特色と概要＞

当科では、泌尿器科悪性腫瘍（腎癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、前立腺癌、精巣癌、陰茎癌）、尿路結石症、尿路感染症、排尿障害、小児泌尿器科疾患（包茎、停留精巣）をはじめとする泌尿器科疾患全般の診療を行っている。

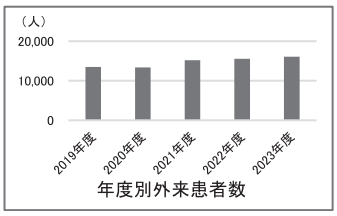
2023年10月に上村啓文先生が赴任され、5人体制となった。年間の外来患者数は15,911人（うち新規患者数は534人）、入院患者数は621人であった。当科で2023年度に施行した手術の詳細は以下の表を参考にしていただきたい。主な手術は膀胱全摘除術4件、腹腔鏡手術（副腎、腎、腎尿管など）23件（うち腎部分切除術7例）、ロボット支援下前立腺全摘除術9件、経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-BT）103件、経尿道的尿管砕石術（TUL）106件、経皮的腎砕石術（PNL）13件、経尿道的レーザー前立腺核出術（HoLEP）35件などであった。

泉州地域における泌尿器科診療の基幹施設の一つとして、数多くの手術実績を地道に積み重ねていくことにより、地域社会に貢献していきたいと考える。

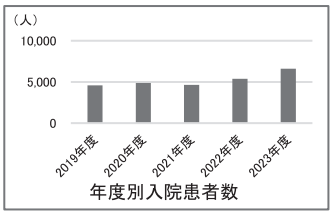
＜実績＞

患者数（外来及び入院、延べ人数の推移）　（人）

年度	外来		入院	
	延べ患者数	1日平均	延べ患者数	1日平均
2019年度	13,499	55.8	4,584	12.5
2020年度	13,367	55.0	4,874	13.4
2021年度	15,171	62.7	4,636	12.7
2022年度	15,558	64.0	5,377	14.7
2023年度	16,088	66.2	6,597	18.0



年度別外来患者数



年度別入院患者数

入院患者の疾患名と人数（主病名件数　上位50まで）
（期間2023/4/1-2024/3/31退院）

主病名（ICD10コード名）	ICD10	件数
膀胱，部位不明	C679	141
尿管結石	N201	86
前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	C61	45
前立腺肥大（症）	N40	40
腎結石	N200	35
腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	C64	30
尿路結石，詳細不明	N209	29
腎盂の悪性新生物＜腫瘍＞	C65	22
尿細管間質性腎炎，急性又は慢性と明示されないもの	N12	15
膀胱	D414	14
尿道	C680	13
急性尿細管間質性腎炎	N10	13
尿路感染症，部位不明	N390	12
その他の急性腎不全	N178	11
膀胱結石	N210	11
膀胱側壁	C672	9
尿管の悪性新生物＜腫瘍＞	C66	8
急性前立腺炎	N410	6
尿膜管の奇形	Q644	6
精巣＜睾丸＞	D401	5
その他及び詳細不明の水腎症	N133	5
尿管結石を伴う腎結石	N202	4
過長包皮，包茎及びかん＜嵌＞頓包茎	N47	4
尿閉	R33	4
詳細不明の腎不全	N19	3
腎及び尿管のその他の明示された障害	N288	3
膀胱炎，詳細不明	N309	3
精巣＜睾丸＞水瘤，詳細不明	N433	3
詳細不明の血尿	R31	3
膀胱前壁	C673	2
肺の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C780	2
尿管	D412	2
無顆粒球症	D70	2
腎結石性及び尿管結石性閉塞を伴う水腎症	N132	2
膀胱憩室	N323	2
尿道狭窄，詳細不明	N359	2
膿瘍を伴わない精巣＜睾丸＞炎，精巣上体＜副睾丸＞炎及び精巣上体精巣＜副睾丸睾丸＞炎	N459	2
停留精巣＜睾丸＞，患側不明	Q539	2
詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎	A099	1
その他の連鎖球菌性敗血症	A408	1
敗血症，詳細不明	A419	1
肛門性器（性病性）いぼ＜疣＞＜疣贅＞	A630	1
胃，部位不明	C169	1
直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	C20	1
縦隔，部位不明	C383	1
陰茎，部位不明	C609	1
膀胱三角	C670	1
膀胱並びにその他及び部位不明の尿路の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	C791	1
その他の男性生殖器	D407	1

検査治療数集計（*は重複あり）

診療明細名称	件数
単純腎摘除術	2
腹腔鏡下腎摘出術	2
根治的腎摘除術	21
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	21
腎尿管全摘除術	21
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	21
膀胱全摘除術	4
膀胱悪性腫瘍手術（全摘（腸管等を利用して尿路変更を行わないもの））	3
膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの））	1
尿管皮膚瘻造設術	2
尿管皮膚瘻造設術	2
回腸導管造設術	1
膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの））	1
前立腺全摘除術	9
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	9

診療明細名称	件数
精巣摘除術	8
精巣悪性腫瘍手術	6
精巣摘出術	2
精巣固定術	3
停留精巣固定術	2
精索捻転手術（対側の精巣固定術を伴うもの）	1
包茎手術	7
包茎手術（環状切除術）	6
包茎手術（背面切開術）	1
PNL(経皮的腎結石破砕術)	13
経皮的尿路結石除去術（経皮的腎瘻造設術を含む。）	13 ＊
TUL(経尿道的尿管結石破砕術)	106
膀胱砕石術	15
TUR-P/HoLEP	36
経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術（ホルミウムレーザー又は倍周波数レーザーを用いるもの）	35
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの）	1
TUR-Bt	103
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用のもの）	103
腎盂尿管鏡検査	14
腎盂尿管ファイバースコピー（片側）	11
腎盂尿管ファイバースコピー（両側）	3
ESWL	87
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	87
腹腔鏡下尿膜管摘出術	5
腹腔鏡下尿膜管摘出術	5
創部縫合術	2
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径5センチメートル未満））	2
陰茎生検	3
組織試験採取（皮膚）	3
精巣捻転手術	1
精索捻転手術（対側の精巣固定術を伴うもの）	1

（診療報酬請求の番号の発出を元にカウントした件数）

＜今年度の反省と来年度への抱負＞

外来患者数、入院患者数および手術件数は前年とほぼ同等で、大きなトラブルなく診療を行うことができた。

2023年12月当院にも手術支援ロボット「ダビンチXi」が導入され、12月20日にロボット支援下前立腺全摘除術を施行した。術中にトラブルはなく、スムーズに施行でき、術後経過も良好あった。以降、順調に症例数を重ねている。

泌尿器科の進歩は著しく、外科的治療では腹腔鏡手術やロボット支援手術といった低侵襲治療が普及し、薬物治療では革新的な新薬が次々に産み出されている。多くの患者から「ありがとう」と言っていただけるように、最新で良質な医療を安全に提供できるように日夜診療に励む。

昨年度以上に救急患者や時間外患者を診察し、ロボット支援手術を積極的に行うことにより、入院患者数（年間600名）および手術件数（年間400件）を増加させる。